



2006/10 – 2007/1 カリキュラム
京都大学共通講座

グローバル情報社会とIT Venture Management 論
藤枝純教

2006/10/6

グローバル情報化社会から オープン知価社会への変貌の中での ITベンチャービジネス論 II

2006年10月6日--2007年1月12日

京都大学 学術情報メディアセンター

グローバル情報社会研究所(株) 代表取締役社長

オープン・グループ 日本代表・会長

CRM協議会 理事長

信州大学 経営大学院 客員教授

京都大学 学術情報メディアセンター 講師

藤枝 純教

jfujieda2@re-gis.com

■ 2006年度 京都大学 後期講義 ■ 2006年10月6日 --- 2007年1月12日
《ITベンチャービジネス論Ⅱ 講義プログラム》

- 第1回 2006年10月6日〔金〕 【京大キャンパス】
グローバル情報社会と 知価社会とベンチャーの意義
- 第2回 2006年10月13日〔金〕 【東京】
ベンチャーとイノベーションの歴史から米国 ベンチャー ビジネスへの系譜
- 第3回 2006年10月20日〔金〕 【東京】
米国のITベンチャーの歴史とITベンチャー ケースと
大学院ケース スタディチーム発足
- 第4回 2006年10月27日〔金〕 【京大キャンパス】
代理講師 藤田 喜彦 先生

* 終了後、(1)学生自己紹介 (2)この講座で何を学びたいか。
(3)藤田先生の講義を聴いて何を 学んだか？について、
感想文を400字まで まとめeMailで提出。

TO: jfujieda2@re-gis.com CC: ritsuko@re-gis.com

締切り: 11/2(THU) 18:00まで。

第5回 2006年11月10〔金〕 【京大キャンパス】
ベンチャー モデルとチーム発表

第6回 2006年11月17日〔金〕 【京大キャンパス】
アントレプレナ・ベンチャーCSK

* 11/24(FRI)は、京大大学祭にて休講

第7回 2006年12月1日〔金〕 【東京】
アントレプレナーGEケース企業経営

第8回 2006年12月8日〔金〕 【京大キャンパス】
企業の変遷:IBMアントレプレナー時代からオープン・サービス化
再構築時代

第9回 2006年12月15日〔金〕 【京大キャンパス】
企業ケース スタディ 発表

第10回 2006年12月22日〔金〕 【東京】
企業ケース スタディ 発表

第11回 2007年1月5日〔金〕 【京大キャンパス】
ITベンチャービジネス論Ⅱ 総論・ペーパーテスト

第12回 2007年1月12日〔金〕 【京大キャンパス】
JF最終講義
IT Venture Management 〔質問会・コンパ〕

以上

グローバル情報社会研究所株式会社
代表取締役社長 藤枝 純教

ReGIS Inc. Office; 東京都新宿区新宿1-1-14 YAMADAビル 10F
TEL:03-5360-8300 FAX:03-5361-3123

eMail; jfujieda2@re-gis.com

CC; ritsuko@re-gis.com

【評価方式】

(A) 論文提出〔学部・大学院とも全員必須〕; 2007年1月11日(THU) 必着。

第1回～第11回の講義を聞いて、自分とベンチャーへのチャレンジ及びケース企業またはオープン・グローバル社会の授業から何を学びどう自分に変化を与えたか？

小論文(eMailで1200字以内提出)

TO: jfujieda2@re-gis.com CC: ritsuko@re-gis.com

(B) コースII〔大学院・学部とも必須〕;

チームによるケーススタディー 最終報告書の提出をPPT(10枚以内)+Word(3ページ以内)で提出。評価の対象です。

(C) 出席率; 遅刻は15分以内は認めますが、それ以降の遅刻は欠席扱いとする。

(D) 簡単な10問程度のIT ベンチャーマネジメントに出た熟語解説のペーパーテスト
2007年1月5日(FRI) 実施 必須テスト

(E) 2006年10月27日(FRI)の代理講師 藤田 喜彦先生の講義感想文を11月2日(THU) 18:00までに400字にまとめて、eMailで提出。TO: jfujieda2@re-gis.com CC: ritsuko@re-gis.com

* 学部は、(A) 20%+(C)30% +(D)10%で基礎評価。(B)は40%の重みで加点。

* 大学院は、(B)の重みが60%。

* 提出期限遅れは、基本的には認めません。

* 提出物には、氏名・学部・学科・学年を必ず記入のこと。

以上